文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	副主幹	係長	主査	担当							文書取扱主任		

第 17 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 28 年 8 月 19 日 (金曜日)	開会 10 時 29 分	閉会 11 時 41 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	小野、井上、三上、山本、荒木、東元	事務局	竹谷事務局長
	議長、副議長、委員外～清水		菊田副主幹
欠席委員			平川係長
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。		
	(1) たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデン 2016 の開催結果について		
	(2) サマースカイフェスタ 2016 の開催結果について		
	(3) 店舗リノベーション支援事業について		
	(4) そらちワイン×ワイン Festa2016 の開催について		
	(5) なかそらち大収穫祭への出店について		
	(6) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について		
	(7) 栄町 3-3 地区再開発事業の進捗状況について		
	(8) 建設部工事発注状況について		
議 事 の 概 要	(9) 駅前広場整備の状況について		
	(10) 市営住宅等の指定管理者の公募について		
	2 第 3 回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査項目のとおりとすることに決定した。		
	3 その他について		
	なし		
	4 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 小野 保之 ㊦			

平成28年8月17日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成28年7月22日付け滝議第64号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

産業振興部長	中 川 啓 一
産業振興部次長	長 瀬 文 敬
産業振興部産業振興課長	阪 本 康 雅
産業振興部産業振興課農商工連携室長	諏 佐 孝
産業振興部商業観光課主幹	日 口 裕 二
産業振興部商業観光課主幹	鳩 山 稔
産業振興部商業観光課係長	後 呂 典 輝
産業振興部商業観光課係長	今 安紀子
産業振興部駅周辺整備課長	加 地 幸 治
産業振興部駅周辺整備課長補佐	丸 藤 斉 士
産業振興部駅周辺整備課係長	林 裕 樹
建設部長	高 瀬 慎二郎
建設部土木課長	山 崎 智 弘
建設部土木課長補佐	近 藤 誕 樹
建設部都市計画課長	尾 崎 敦
建設部建築住宅課長	伊 藤 和 博
建設部建築住宅課長補佐	三 吉 修 司
建設部建築住宅課係長	鎌 塚 誠
建設部建築住宅課主任級主事	橋 本 恒 介

(総務部総務課総務係)

第17回 経済建設常任委員会

日 時 平成28年8月19日（金）

午前10時30分

場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について

《産業振興部》

(1) たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデン2016の開催結果について	(資料) 農商工連携室
(2) サマースカイフェスタ2016の開催結果について	(資料) 商業観光課
(3) 店舗リノベーション支援事業について	(資料) 商業観光課
(4) そらちワイン×ワインFesta2016の開催について	(資料) 商業観光課
(5) なかそらち大収穫祭への出店について	(資料) 商業観光課
(6) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について	(資料) 駅周辺整備課
(7) 栄町3-3地区再開発事業の進捗状況について	(資料) 駅周辺整備課

《建設部》

(8) 建設部工事発注状況について	(資料) 土木課
(9) 駅前広場整備の状況について	(資料) 都市計画課
(10) 市営住宅等の指定管理者の公募について	(資料) 建築住宅課

2 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第17回 経済建設常任委員会

H28.8.19 (金)10:30～

第一委員会室

開 会 10:29

委員長 ただいまから、第17回経済建設常任委員会を開会します。

委員動静報告

委員長 委員動静ですが、委員は全員出席です。正副議長にご出席いただいております。委員外議員として清水議員、傍聴として館内議員、安樂議員、本間議員、木下議員が出席しております。

1 所管からの報告事項について

委員長 それでは、(1)、たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデン2016の開催結果について説明を求めます。

(1) たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデン2016の開催結果について

諏佐室長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

ここで、北海道新聞社の傍聴を許可します。

それでは、(2)、サマースカイフェスタ2016の開催結果について説明を求めます。

(2) サマースカイフェスタ2016の開催結果について

日口主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

次に(3)、店舗リノベーション支援事業について説明を求めます。

(3) 店舗リノベーション支援事業について

後呂係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

(4)、そらちワイン×ワインF e s t a 2016の開催について説明を求めます。

(4) そらちワイン×ワインF e s t a 2016の開催について

今係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

次に、(5)、なかそら大収穫祭への出店について説明を求めます。

(5) なかそら大収穫祭への出店について

今係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。
(6)、滝川駅前再開発ビルの状況報告について説明を求めます。
(6) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について
(別紙資料に基づき説明する。)

林係長
委員長 説明が終わりました。
質疑ございますか。
清水委員外議員。

清水委員外議員 発言の内容ですが、今後の対応策について、現在の入居されている方々等に対する市としての何らかの対応は、考えているのかということと、現在のスマイルビル、かつて無償譲受の話があったときにいろんな債権を放棄してもらったはずですが、無償譲受できなかったのが、債権放棄が全部崩れて、そのまま債権が残っているのかどうか、そのあたりの確認をしたいと思います。

委員長 清水委員外議員から、発言の内容について説明がありましたが、発言を許可してよろしいですか。
(異議なしの声あり)

委員長 それでは、2分以内で発言を許可します。

清水委員外議員 まず、1点目は、現在のテナント、市内で営業している事業者の事業継続が難しくなることが見えてきている中で、市として何らかの情報交換等を行っていく考え方について伺います。
2点目は、かつて無償譲受問題でいろんな債権が放棄されるという状況だったと思うのですが、現時点で当時債権放棄が予定されていたものについては全て債権放棄されて、今身軽な状態になっているのか確認したいと思います。

加地課長 2点目の債権の関係につきましては、相手があっての話ですので、私どもとしては、現状においては把握しておりませんので、この部分については回答ができません。
1点目につきましては、情報交換をこういった状況になった際には行っていくのかどうかというお話だと思いますが、基本的には過去の無償譲渡の時の話もあったのですが、大家とたな子との関係がまず第一に優先されるべきであろうと認識しております。その上で、仮にテナントが、市内で事業を行われている小売店の方がこういった状況において何らかの問題が発生するとか、課題があるとか、そういった点が明らかになってきた際には、当然その時点において相談があったりとか情報交換を行っていくというようなことは、想定されるであろうと認識しております。

清水委員外議員 2点目について、当時市は議会にもこういった債権は放棄されるといった報告をしたと思うのです。それについて、あの当時予定したとおりになったかどうかを把握していないということなのか、それとも把握する立場にないということなのか伺います。
それと、テナントについてはもう4カ月後です。4カ月後ということは、次の移転先とか、継続しようと思ったら考えなければならない時期であって、そういうときに市のこういった制度があるということ市からも話しかけるべきではないかと思いますが、なぜ、優先順位が低いのでしょうか。

加地課長 清水議員が言われている債権というものについて、どのような認識で言っているのかわかりませんが、個々の企業に関しての中身ですので、それを把握する云々ということについて、現状においては滝川市として相手と何も交渉していることはありませんし、それを私どもとして内々に情報を得ている部分はありますけれども、これを公表していくということについてはいかがなものかという認識を持っています。

それと、あと4カ月しかないのというお話ですけれども、退去されるのですかと私は思います。それは、メインエレベーターが使われなくなった状態の中で上下に移動することができなくなるわけではないのです。階段、エスカレーターもあります。その中で営業できないのか、それとも継続しないのか、そういったところもわからない中で、滝川市としてテナントの皆さん、どうされるのですかということをおあり立てる必要性があるのでしょうか。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。

(7)、栄町3—3地区再開発事業の進捗状況について説明を求めます。

(7) 栄町3—3地区再開発事業の進捗状況について

丸藤課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

清水委員外議員 質疑ございますか。

清水委員外議員 清水委員外議員。

清水委員外議員 発言の内容ですが、補助金額が予定から幾ら下がったのかということと、VE提案により補助対象経費が下がったということですが、もう少し詳しくお伺いしたいです。

委員長 清水委員外議員から、発言の内容について説明がありました。発言を許可してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長 それでは、2分以内で発言を許可します。

清水委員外議員 1点目は、資料に補助交付決定状況で2億2,000万円と書いてありますが、これは予定から相当減っていると思うのです。たしか3億円ぐらいと考えていたのですが、そのことについて伺います。

丸藤課長補佐 2点目は、このVE提案等により減ったということですが、どのようなことで見込みより減ったのか伺います。

丸藤課長補佐 1点目ですが、内訳については現在アニム滝川のほうで泰進建設から出された内訳を精査しているということで、我々もその報告を待っているところです。

丸藤課長補佐 2点目も同じく内訳がまだ出ておりませんので、現状は総額が下がっていますが、細かい内訳が出ていない状況です。

加地課長 若干補足させていただきますけれども、資料の2の交付決定状況の中で2億2,000万円とありますが、これは当初予算で計上している金額と同額です。このうち国から返ってくる分が1億1,000万円ということで、当初予算において計上している額を交付決定済みであると。ここをマックスにして、これからVE提案(バリュー・エンジニアリング)ということで、性能を落とさずに安価にできるような方法がないかということでの提案をしていただいて、工事費を現在積み上げている状況にありますので、その内訳書を精査した上で、その中で当然補助

対象になるものとならないものがありますから、その部分を見比べて減額の見込みがあるという報告を今させていただいておりますので、今後、昨年もそうでしたけれども、第1回定例会の中で補正予算という形での対応で補助金の減額とか、そういった対応が、今後見込まれる状況にあると考えているところです。しかし、一方で、工事を進めていく上でいろんな支障物が出てくるといった部分があれば、当然設計変更などが生じて、それが補助対象の部分に該当する、そういったことになれば当然その部分についての減額の幅が少なくなったり、時には予算を多く出すということにもなる可能性もあります。補正予算という形には私どもとしては今のところは考えてはいませんけれども、現状においては、そういった状況にあるということでの回答を補正させていただきます。

清水委員外議員

要するに、これは当初予算の金額が載っていると、これから減額する、その減額幅はまだわからないと。確認したいのは、総工費が減ったので、事業者の負担も減るということで確認していいのか。

加地課長

非常に難しい質疑ですけれども、工事費も当然減れば補助金も減ると。その中で一定の比率はありますけれども、補助対象となるものの位置づけがありますので、総額として10あったものが8になったから、補助金も2減って、負担もそれだけ落ちるようなイメージは持つかもしれませんが、補助金の部分については若干ルール of 計算があるので、総額が減ってはいるけれども、それよりも機器がもう少し大きいとかというようなことになってくると、当然持ち出しが大きくなってくるとかという部分は出てくるかと思えます。しかしながら、今のところは、ある程度想定内の部分に入っているということでの報告をアニム滝川から聞いている状況です。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みとします。

所管の入れかえがありますので、暫時休憩します。

休 憩 11:04

再 開 11:06

委員 長

休憩前に引き続き会議を再開します。

(8)、建設部工事発注状況について説明を求めます。

(8) 建設部工事発注状況について

近藤課長補佐

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みとします。

(9)、駅前広場整備状況について説明を求めます。

(9) 駅前広場整備の状況について

尾崎課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みとします。

(10)、市営住宅等の指定管理の公募について説明を求めます。

(10) 市営住宅等の指定管理者の公募について

(別紙資料に基づき説明する。)

鎌塚係長
委員長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

荒 木

まず、素案ということですが、例えば指定管理者の募集要項とか、あるいは業務仕様書とか、恐らく先例他市を参考に、直接行って伺ってつくられていると思うのですけれども、そういう先例他市と大きく異なるというか、そういう要素があるのかどうかはまず1点目。

それから、市と指定管理者の責任分担、リスク表がありました。これも先例他市と比べて、同じようなことになっているのかどうか。

それから、自主事業の提案を受けると伺ったのですけれども、この項目を見る限り、私は収入を得るような自主事業のイメージが全くできませんが、どのようなことがあるのか伺います。

鎌塚係長

まず1点目、きょうお示しさせていただきましたこの素案の作成に当たってということで、大きく他市との違いがあるのかということですが、基本的にまず募集の段階でございますので、特別何か限定をかけたか、際立った何かを指定しているということは特にございません。まずは幅広く、この間の委員会でもご説明させていただいておりますが、滝川市で取り組んでいる指定管理者制度の取り組み、この基本的なところに沿ってまずは広く募集をかけると、そういった中で参加していただいた団体の一つ一つヒアリング審査を行って詰めていくという考え方を持っております。

2点目、リスク分担でございますが、これは基本的にどの自治体でも、これは公営住宅に限らず、指定管理者制度導入している自治体であればリスク分担というものは必ず設定しております。ただ、中身の項目については、それぞれの業務内容があると思いますので、そこに合わせたリスク分担ということで作成していると思います。細かい中身について同じかと言われると、それぞれの仕事の業務内容で異なってくると。ただ、リスク分担は必ず設定するのが基本ということで考えております。

3点目で自主事業についてですが、収入を得る、得ないということは別として、他市で見てきた中では、福祉的な視点で見守りとか、最近では高齢者もふえてきておりますし、高齢者の単身入居もふえてきておりますので、そういった見守りとか、高齢者を対象とする事業、イベントをやられているとかと、情報としては耳にしているところでございます。また、団地入居者、入居予定者に限らず、町内会との連携とか、さまざまな提案があると思いますので、まずはこういった考え方、市営住宅の維持管理に伴って何ができるのかという提案を聞いた中で、しっかり参加団体に中身について確認していきたいと思っております。自主事業はこれだということはいえませんが、おおむねそういう福祉的な施策でやられている自主事業が多いかと思っております。

委員長
委員長

ほかに質疑ございますか。

清水委員外議員

清水委員外議員。

質疑の内容ですが、管理時間をもう少し具体的に、家賃収納業務の委託の関係について、事務所の場所について、計画修繕と交付金の関連する修繕との違いについて、入居者等にこの素案の段階でご意見を伺ってまとめていく考え方についての以上5点についてです。

委員長 清水委員外議員から、発言の内容について説明がありましたが、発言を許可してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長 それでは、2分以内で発言を許可します。

清水委員外議員 まず、管理時間です。資料の募集要項の5ページに書いているという説明だったのですが、ちょっと探せないの、もう少し詳しくお願いします。

2点目は、家賃の収納業務の委託についてですが、これは募集要項の7ページにいろいろと書いていますが、結局市が指定管理代行者を決めて、その代行者に委託をします。そうすると収納に関してどのような分担になるのか。もう一つは、収納業務の中には滞納とかいろいろなことがあるわけですが、市に残る業務はどんな業務があるのか。

3点目は、事務所の場所について、仕様書では2ページに滝川市内とすると、余りにもこれまで私が求めてきたものからかけ離れているので、なぜもっと市民の利便性を考えられなかったのか。

4点目は、交付金による修繕は市で行うと書いているけれども、その後の計画修繕は指定管理者で行うと。この2つの修繕の違いを具体的に伺います。

最後に、この素案を入居者または自治会の役員等に示して、ご意見を伺って進めるということについての考え方について伺います。

鎌塚係長 まず、清水議員からの質疑の前に、先ほど荒木委員から質疑のあった他市との違いが特にあるのかということだったのですが、特段際立って何か違いはございませんので、改めて回答させていただきます。

ただいま清水委員外議員から5点の質疑をいただきました。

1点目、管理時間について、事務所の時間とか曜日というような考え方についてのご質疑と思いますが、基本的には現在直営で市で行っています平日の朝8時半から午後5時15分までの窓口時間を基本として、参加団体がどのように窓口を考えていくのかという考え方を示して、あくまでも市にその部分を提起して、市としてもその時間、曜日について承認するような形にしています。募集要項の4ページになりますが、8、管理の基準の(1)です。参加団体がどのように事務所の時間帯を考えるのかを提案いただきまして、滝川市の承認を得て窓口を実施していくというつくりにしております。

2点目の家賃の収納委託について、指定管理業務と別に収納業務委託をお願いするという考え方で、どのような分担かということですが、基本的に事実確認、事実ののりつた業務しか委託にしません。事実ののりつたということは期限を過ぎている何月分の家賃がございまして、これはいつお支払いいただけますかという単純な確認ですとか、相手から相談されたことは当然相談として記録して市に報告してもらいます。滞納がたくさんあるから、どうする、どのように分割していくのかといった分納相談まで踏み込んだ中身の業務は、市に残ると。市として引き続き残っていくのは、さらにそこから法的措置とか、支払い督促とか、最終的には明け渡しとか、そういったことがメインになっていきますし、市で取り扱っている方の状況が改善されれば、また委託の範囲として戻っていくということも当然考えられます。市の取り扱いだからといって、完全にその個人が、そのあとずっと市で管理される対象者ではないということです。あくまでも滞納の状況とか、滞納の相談とか、取り扱いについての分担になっていきますから、滞納が解消されて通常に戻れば、また引き続き委託業務の中

に含まれていくと捉えていただければと思います。

事務所の場所について、この間も清水委員外議員からご意見をいただいております。選定職員会議において、経済建設常任委員会等からの意見も事務局として報告して議論しているところでございます。募集の段階から必ずこの範囲に限定すればするほど、参加団体が対応できる、できないということもございまずので、あくまでも間口を広くしているというところではご理解いただけるかと思っております。その中で、窓口をどのように設定して、事務処理の環境を整えるのかといったことにつきましては、あくまでも申請、その後のヒアリング、利便性が損なわれる、弱いと思われる部分については、どのように対応していくのか、しっかりと参加団体へヒアリングして、その辺の考え方を聞いていきたいと思っております。単純に窓口が中心外にあるからといって、それだけを捉えて利便性が低いというわけではなくて、低い部分をどう高く解消していくのか、向上につなげていくのかということもしっかりとヒアリングして中身を確認していきたいと考えております。

4点目、計画修繕、交付金事業の違いは何かと。当然交付金事業ですから、国、道も含めて補助金、交付金をいただいている事業、建てかえ事業がメインになっている事業でございまずが、これは市の施策として行っているわけですから、引き続き市が責任持って行っていくと。あくまでも計画修繕ということになりますが、これはいわゆる単費事業です。補助金が伴わない修繕です。通常一般的に修繕というものは、老朽化とか、緊急的に発生する修繕を一般修繕というふうにお話しさせてもらっていますが、年度ごとにあらかじめ予定している修繕がございまず。メーターを取りかえるとか、屋根を塗装するとか、そういった単費の事業につきましては、計画修繕の枠組みとさせていただきますので、一般修繕、計画修繕、これらについては指定管理者業務として外にお願いするような考えを持っております。

5点目、入居者等、自治会も含めてこの素案の考え方、意見を聴取しないのかということですが、あくまでも制度そのもの、維持管理そのものの形が変わるわけではございませんので、入居者を損なうような制度になっていくものではございません。さらに、市民サービスが向上していくための指定管理者制度として、導入しているわけですから、制度が変わって入居者の生活が変わるわけではございませんので、特段意見を聴取して指定管理のあり方とともに議論していくという環境ではないということをご理解いただければと思います。ただ、入居者とか自治会の対応については、当然指定管理が導入されれば、指定管理者と入居者、自治会との連携が密にはなっていきますが、そこに市の責任が全くないというわけではございませんので、そこはしっかりと市のサポートも必要と思っておりますし、かかわりは引き続き出てきますので、全く切れるものではないとご理解いただければと思います。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みとします。

2 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

委員長

第3回定例会以降の調査事項について、別紙のとおりとしてよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、別紙調査事項のとおり決定します。

3 その他について

委員長 その他について委員から何かございますか。
(なしの声あり)

委員長 事務局から何かございますか。
(なしの声あり)

4 次回委員会の日程について

委員長 それでは、次回委員会の日程について、正副委員長に一任願えますか。
(異議なしの声あり)

委員長 以上をもちまして、第17回経済建設常任委員会を閉会します。

閉 会 11 : 41